

## 防災・原子力学術会議（3月9日）におけるアドバイス等

	意見	対応案
1	海外からの支援活動の受け入れ体制の整備について記載すべき	「総合防災訓練等の米軍等の参加を含めた海外からの支援活動との連携強化を図るとともに、富士山静岡空港の海外からの支援活動の受け入れ拠点としての機能の検証を行う。」旨 <b>記載する</b> 。(P30)
2	原子力発電所については、事故の後の対応についてのみ記載があるが、事故が起きないための取組を記載すべきではないか。	「浜岡原子力発電所の安全対策については、県として、国に新規規制基準による厳正な審査を求めるとともに、静岡県防災・原子力学術会議の御意見を伺い、独自に安全性の検証を実施するほか、津波対策工事等の現場点検なども実施し、安全性を徹底的にチェックすることに取り組む。」旨を <b>記載する</b> 。(P33)
3	県内大学における防災専門家の養成について、大学の中にきっちりとしたカリキュラムやコースを設け育成するなど、具体策を検討してもらいたい。	「防災教育・研究の振興や防災対策の発展等について相互協力を図るため、県内の大学等が連携し構成する「しずおか防災コンソーシアム」等を通じ、防災に関する専門家の育成に努める」旨を <b>記載する</b> 。(P34)
4	ロジスティック（物流）が重要である。道路の寸断や物資不足が想定される。道路や海（港湾）などの物流機能の維持についてしっかりと検討してもらいたい。	道路や港湾などの基幹的交通インフラは、我が国の経済を支える非常に重要なものであることから、P23 第3章・2 施策分野毎の推進方針・(7)交通基盤の<交通ネットワーク>に記載のとおり、それらのネットワーク機能や安全性を確保するとともに、被災時に早期復旧できるよう、整備・耐震対策等の推進、輸送モード相互の連携や代替性の確保等を図っていく。